

保育所



申請者	フリガナ 法人等名称	シャカイフクシハウジン ケンキカイ			
	主たる事務所の 所在地・連絡先	社会福祉法人 健輝会			
		郵便番号 (409 - 3863)			
		山梨県		中巨摩郡昭和町河東中島 7 4 8 - 1	
		電話番号	055 - 268 - 5577	FAX番号	055 - 268 - 5598
	E-mail アドレス	genkiyume21@yahoo.co.jp			
法人等の種別	社会福祉法人	法人所轄庁	山梨県知事		
代表者の 職名・氏名	職名	理事長	フリガナ	ミヤモト トモコ	
			氏名	宮本 知子	
法人の設立年月日	平成 26 年 1 月 14 日設立				
法人が実施している 事業名	第二種社会福祉事業（保育所の経営）				
事業所番号	1938401000047				
フリガナ 施設名称	ゲンキユメホイクエン げんき夢保育園				
施設の所在地 ・連絡先	郵便番号 (409 - 3863)				
	山梨県		中巨摩郡昭和町河東中島 7 4 8 - 1		
	電話番号	055 - 268 - 5577	FAX番号	055 - 268 - 5598	
	E-mail アドレス	genkiyume21@yahoo.co.jp			
園長の氏名・職名	フリガナ	ミヤモト トモコ		職名	園長
	氏名	宮本 知子			
認可年月日	平成 21 年 4 月 1 日	確認年月日	年 月 日		
連携施設の名称（地 域型保育のみ）					
開所時間	2.3号	平日	7 時 00 分 ~ 18 時 30 分		
		土曜日	8 時 00 分 ~ 16 時 00 分		
		日曜日	時 分 ~ 時 分		
休園日 <small>夏季休園日 月 日 ~ 月 日、 行事の振替休日 月第 曜日 のようにご記入下さい</small>	年末年始（12月29日から1月3日）及び祝祭日				

保育所



利用定員	2号認定	5歳児		4歳児		3歳児		合計					
		17人		20人		16人		52人					
	3号認定	2歳児		1歳児		0歳児		合計					
		17人		17人		9人		43人					
学級編制		学級 (1学級当たり 人)											
職員の状況	職種		主任保育士		保育士		調理員		その他職員				
	配置職員数	常勤	1人		18人		1人		1人				
		非常勤			5人		2人		2人				
	平均経験年数		22		8								
	医師(嘱託医)		有 内科医、歯科医の両方いる場合に「有」										
	教育・保育従事者1人当たりの園児数		5人(非常勤職員は常勤換算して算出)										
	常勤職員の労働時間		8時間										
施設設備	設備		園舎		乳児室		ほふく室		保育室		遊戯室		
	居室数/面積		532.73	m ²	2室/	76.8	m ²	1室/	37.6	m ²	3室/	120.61	m ²
	1人当たりの面積		5.6	m ² /人	5.12	m ² /人	3.41	m ² /人	1.75	m ² /人	m ² /人		
	園庭		設置場所			全体の面積			満2歳以上児1人当たり面積				
		敷地内			408.86			5.92					
運営方針		<p>お子さんを中心にご家族の心と体がげんきになれるような保育を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども同士のふれあいを大切にする (縦割り保育(3・4・5歳児混合)、見守る保育の実践、障がい児保育、異年齢保育) 生命の大切さを理解できる保育をする (健康教育・食育・防煙教育・予防接種・危機管理教育・芝生の育成) 年齢に応じた環境への取り組みを行なう(エコ教育) 保護者と共に子どもの成長の喜びを分かち合う(家族支援) 平和の大切さを子どもたちに伝える(平和教育) 											
教育・保育の内容		<ul style="list-style-type: none"> 縦割り保育 コミュニケーション能力の低下が叫ばれている昨今、子ども同士がコミュニケーションを取らねばならない環境設定をします。毎日の生活の中で小さい子の面倒を自然にみたり、大きい子の様子を見て覚えたり、時にはケンカの仲裁に入ったり、子ども同士の中で大きい子が言葉がけをしながら仲直りしていく場面も見られます。きょうだい、仲間、そして家族のような意識が生まれ、お互いを思いやる気持ちを育てていきます。 障がいをもつ子と一緒に生活する 小さい頃から一緒に生活していると「今必要なことは何だろう...」「自分ができることは何だろう...」「どこまで見守ればいいのか」など分かるようになり、社会に出てからも自然と声をかけたり、距離のとり方がわかって関わられるようになります。障がいを持つ子や配慮が必要な子は刺激を受け、健常の子は思いやりの心が育っていきます。健常の子も障がいのある子と共に支え合えることが当たり前の日常を目指します。 											
子育て支援の実施状況(実施している場合)		週1回または随時、隣設の病児保育利用者や登録時来園者、小児科受診者等へ主任による子育て支援を行っており、必要に応じて専門機関への紹介も行っています。											



<p>教育・保育の提供内容に関する特色</p>	<p>・食育 『食』は生きるためのエネルギーです。給食室は園の中心に全面ガラス張りになっていて、栄養士と調理師が給食を作る様子を外からいつでも見ることができます。お子さんと一緒に給食室を眺めて話したり、ご家庭での話題にもつながるようです。幼いころから食に興味をもち、健康に過ごせる大切な基礎を作っていきます。また地産地消に取り組んでいます。給食には昭和町内の農家の方や障がい者就労支援施設で収穫されたお米を使用しています。</p> <p>・防煙教育 たばこの害を子どもでも分かりやすくペープサートや紙芝居を用い伝えています。『ご家族が心も体もげんきに...』という理念にある通り、お父さんお母さんの“体”が健康でいてもらえるよう子どもを通して伝えたり、子ども自身も自分の体は自分で守るということにつなげます。</p> <p>・予防接種 健康な体をつくるには『予防』が大切だと考えます。その年齢で受けられる（受けるべき）予防接種をすべて受けてから入園していただいています。それが集団予防にもつながります。インフルエンザは一般的には任意接種ですが、当園ではお子さん全員に年2回受けていただいております。全ての子どもたちが元気な毎日を送るために、感染予防や重症化を防ぐためにもご協力をお願いしています。</p> <p>・危機管理教育 月に1回避難訓練（地震・火事・不審者）を行っていますが、日時を決めずに園長の合図で開始します。どんな状況でも冷静に判断し、保育士と子どもたちが安全に行動できるように真剣に取り組んでいます。また、生活の中で危険な場所を考え、踏切に近付かないことや、エレベーターやエスカレーターの正しい乗り方を学び、自分自身で身を守るためにどうしたら良いかなど考える機会を作っています。</p> <p>・芝生の育成 芝生の庭には遊具がありません。広く走り回ることができ、子どもたちは想像力を働かせ工夫して遊びを考えているので、人と関わる力やコミュニケーション能力が育っていきます。やわらかい芝生は赤ちゃんがハイハイして安全に遊ぶことができます。</p> <p>・エコ教育 園児や保護者に提供する食事の際にマイ箸・マイ皿・マイカップを持参していただいています。そのためゴミはほとんど出ず、ごみの減量化に努めています。子どもたちの制作には牛乳パックやトイレットペーパーの芯などを利用しています。廃材を利用することで「物を大切にする」心を育てます。</p> <p>・平和教育・地域交流 地域に在住している戦争体験者の方を園にお招きして、年齢に応じた戦争の話や平和の大切さを子どもたちに伝えていただいています。伝え続ける重要性も実感しています。また、当時の食事(大根飯、すいとん汁等)を給食やおやつで食しています。また、地域のお年寄りが集まる公会堂に出向き、一緒に童謡を歌ったりお手玉や折り紙などをして、ふれあう機会があります。祖父母交流会のお餅つきや茶道体験なども地域の方をお招きして交流を深めています。地域に根差した保育園を目指しています。</p>		
<p>利用料 (実費徴収・上乗せ徴収)</p>			
<p>苦情に対応する 窓口の状況</p>	<p>窓口設置の有無</p>	<p>苦情内容記録の有無</p>	<p>市町村への報告の有無</p>
	<p>有</p>	<p>有</p>	